

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 1月 10日

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービス ステラ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	0	・状況に応じて、スペース確保・安全管理の為、ホワイボード等を移動している	・仕切り、物の配置次第では、更に有効活用できるスペースが設けそう。検討の余地あり ・相談室のパーティションを移動すれば、少し広く使える
	2	職員の配置数は適切である	5	0	・配置基準に沿って配置されている	・状況に応じて、支援拡充のため増員の検討
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5	0	・事業所内の設備は問題なし ・トイレのドアの利用案内、入室制限を行っている。キッチンに「はいれません」の案内	・外階段に手すりがない為、バリアフリー化は完全ではない。増設工事の為には管理会社との相談が必要 ・相談室のドアにストッパーの設置
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5	0	・清掃、消毒を細めに行っている ・転倒しないように物の片付け ・活動中も片付けの時間を必ず作り、気持ちよく活動には入れるように習慣付けている ・児童が帰った後も職員で毎日掃除を行っている	・清掃、消毒、衛生管理は現状を維持し、常に快適に過ごせる空間作りを行っていく
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	1	・研修を通してPDCA等を学んだ ・定期的に職員全員でミーティングを行い、目標設定や振り返りの確認を行っている	・ミーティングにて周知 ・定期的にスタッフ間で確認し、業務改善を図っていく
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0	・結果を共有し、改善に努めていく	・今年度から開業の為、現在取り組み中
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	2	3		・今年度から開業の為、集計結果はこれから公表していく。ホームページを持っていないため、適切な形式で公表していく ・自事業所のホームページ作成を進めていく ・事業所内に掲示し、訪問者にも確認できるよう周知していく
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	3		・外部評価は未実施。今後導入検討
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	・法人内外問わず、研修機会を設けている ・少なくとも毎月1回、社内研修を行っている ・毎月、社内研修を行っている。必要な知識やスキルを研修内容に取り入れてもらいながら資質向上に取り組んでいる	・外部研修の情報収集を行い、受講希望する研修がある際は受講に向けて調整・検討を行っていく

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5	0	・児童の様子観察、保護者面談、関係者との連携と共にアセスメントを行っている ・朝礼やミーティングで管理者が周知・報告している	・定期的に児童、保護者と面談を行い、両者との関係性構築と共に特性把握、課題、ニーズ把握に努める
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	0	・独自の面談シート、アセスメントシート、評価表を用いて定期的に見直しを行っている	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5	0	・本人支援(身体機能、社会性、学習面)、家族支援、地域支援の視点を欠かさず取り入れている	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5	0	・個々の課題に沿った支援に取り組んでいる ・職員全体で一人一人の児童発達支援計画を知り、その子に沿った支援を行っている	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0	・スタッフミーティングにて全体で案を出し合い、活動プログラムを組んでいる ・役割を決めながらも、全体に共有して意見を出し合い、取り組む事が出来ている	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0	・活動を曜日、児童に固定しないで、利用者が満遍なく色々な活動に参加できるようにしている。新しい活動も積極的に取り入れている ・スタッフ間で話し合い、色々なプログラムを取り入れている	
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	5	0	・個々の課題に沿って、個別支援、小集団での支援を取り入れている		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝礼にて前日の支援内容、当日の支援内容の確認・役割分担について打ち合わせを行っている</li> <li>・活動内容によっては事前に確認を取り合い、連携し組み立てていく事もある</li> <li>・毎朝ミーティング時に今日の活動のリーダーが職員全体へ活動の流れを説明し、サブリーダーと一緒に連携を取って活動に取り組んでいる</li> </ul>	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童、保護者の様子等の共有を行っている</li> <li>・当日もしくは翌朝に前日の支援について、気づいた事などの共有を行っている</li> </ul>	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日、業務日誌、個別支援記録に支援内容を記載している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタッフそれぞれで記録内容を見直し、スタッフによる記録内容のムラ等をなくし、記録の質の向上を目指す。課題のみに着目せず、日々の変化や各自の特性把握、出来ている点等の評価と共に客観的視点で、より明確に記していく</li> </ul>
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6カ月以内に1回、独自の評価表を用いてモニタリング実施し、個別支援会議での共有を行っている</li> </ul>	
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児発管を中心に決められたスタッフで会議に出席するようにしている</li> </ul>	
関係機関や保護者との	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・何か変わった様子があれば、すぐに関係者に連絡し連携を図っている</li> </ul>	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	/	/	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(医療的ケア児の受入れ、重心児の受入れはないが)保育園通園している児童は保育園も交えて会議を行っている</li> </ul>	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	/	/	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(医療的ケア児の受入れ、重心児の受入れはないが)主治医の連絡先は全児童に聞いている</li> </ul>	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園、こども園とは定期的に情報共有を行っている</li> <li>・日頃から、学校の先生達とも連携を取り、児童の様子や支援について情報共有を行い、受けた内容を職員間でも共有している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移行実績はまだ無し。必要に応じて各関係機関と連携を取り、スムーズな移行支援を実施していく</li> </ul>

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
連携関係機関や保護者との連携	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	0	・小学校とは定期的に情報共有を行っている	・移行実績はまだ無し。必要に応じて各関係機関と連携を取り、スムーズな移行支援を実施していく
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	0	・他事業所と各々の支援方法や専門的支援内容の情報交換を行っている ・最近では、浦添市の連携会議に出席し助言をもらったりした。研修も受けている	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	5	0	・地域の児童センターを利用したり、催し物に参加し、交流を図っている	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	5	0	・市子ども部会主催の連絡会に参加	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	・送迎時に保護者へ本日の出来事を報告、LINE等のツールを使用して状況報告を行っている ・保護者と常に連携しあい、課題について共有を行っている	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	4	1	・保護者から相談がある際は、専門的知識をわかりやすい言葉で助言を行っている	・コロナ改善後は、講座等の開催を検討していく
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0	・契約時、契約書、重要事項説明書を丁寧に説明している	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5	0	・個別支援計画書の内容説明を行い、都度確認・署名をもらい、コピーを渡している	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0	・保護者の不安等を聞いて、学校等と協力しあって、助言や支援を行っている	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	3		・コロナ禍で未実施。今後開催検討中 ・コロナの為、できていないが落ち着いたら行いたい
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0	・日々の学校・家庭からの申し送りにて状況把握を行い、相談が必要な児童に対しては事前に情報収集を行う	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	0	・月1回、利用希望確認と共に活動予定表を配布している	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	5	0	・最大限の配慮を行っている	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	・保護者の体調に配慮し、申し送り等の調整を行っている	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	0	・最近では、ハロウィンに他事業所が来所して交流を行った	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5	0		・マニュアル見直し、整備を行い、スタッフ間への周知のみならず、保護者へ事業所マニュアルの配布等の周知を図っていく
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0	・日々の活動にも取り入れ、避難訓練を行っている	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5	0	・初回面談、定期アセスメントにて服薬状況、医療状況の確認を行っている ・スタッフミーティングで話し合い、全体で共有している	・服薬の必要性のある児童には服薬リストを作成し、スタッフ間で共有していく
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	0	・初回面談にて、保護者に確認を行っている	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0	・些細な事でも書き、改善できるよう全体で話合っている ・早急に共有し、スタッフ間で話し合う事ができている	・ヒヤリハットは事象が起きたら都度作成し、直ちに確認・共有していく
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	・虐待委員会の設置 ・定期的に事業所内で虐待研修を実施	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5	0		身体拘束を行う事例がなく、想定する程の行動障害を有した児童の利用がない。今後必要がある際はしっかりと具体例を示し、保護者への説明と共に計画書に明記していく

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。